

Wolfgang Amadeus
Mozart
(1756~1791)



小倉貴久子の

モーツァルトの クラヴィーアのある部屋

「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」
には毎回、モーツァルトと関わりのある作
曲家等をひとりずつゲストとして迎えます。
モーツァルトとゲスト作曲家のクラヴィーア
のソロ作品、またバリオド楽器奏者と共
にお届けする室内楽、連弾、歌曲などと、
お話を交えながらのコンサートです。18世
紀にタイムスリップしたかのようなひととき、
「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」
にみなさまをご案内いたします!

《第34回》2018年10月15日(月)午後7時開演(開場6:30)

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach [1685-1750]

小倉貴久子(クラヴィーア)

J.S.バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻より 第17番 変イ長調 BWV862/
平均律クラヴィーア曲集 第2巻より 第7番 変ホ長調 BWV876/
ファンタジーとフーガ イ短調 BWV904/パルティータ 第4番 二長調 BWV828
モーツァルト: 小品 ハ短調 K.15z/フーガト短調 K.401/ソナタ 変ホ長調 K.282/ト長調 K.283

第34回の使用楽器: Tangentenflügel made by Akira Kubota

《第35回》2018年12月27日(木)午後7時開演(開場6:30)

A.エーベルル Anton Eberl [1765-1807]

小倉貴久子(クラヴィーア)・荒木優子(ヴァイオリン)

A.エーベルル: トッカータ ハ短調 作品46/クラヴィーアソナタ ハ短調 作品1/
クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ 二短調 作品14
モーツァルト: 小品 変ロ長調 K.15w/クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 K.305/
クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタ 変ロ長調 K.454

第35回、第36回の使用楽器: Klavier made by Chris Maene after A.Walter [1795]

《第36回》2019年3月27日(水)午後7時開演(開場6:30)

J.S.シュレーター Johann Samuel Schroeter [c.1752-1788]

小倉貴久子(クラヴィーア)・渡邊さとみ(ヴァイオリン)

松永鏡子(ヴァイオリン/ヴィオラ)・懸田貴嗣(チェロ)

J.S.シュレーター: ヴァイオリンとバス付きのクラヴィーアソナタ 二長調 作品2-1/
クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタト長調 作品4-5/コンチェルト ハ長調 作品3-3
モーツァルト: 小品 へ長調 K.15x/ディヴェルティメント 変ロ長調 K.254/
クラヴィーアとヴァイオリンのためのソナタト長調 K.301/四重奏曲ト短調 K.478

近江楽堂

東京オペラシティビル3F

全席自由: 1回券 4,000円(学生2,000円)

3回セット券 10,000円「メヌエット・デア・フリューゲル」及び「近江楽堂・松木アートオフィス」でのみ販売

後援: 日本モーツァルト協会/東京藝術大学音楽学部同声会

日本モーツァルト愛好会/(一社)全日本ピアノ指導者協会

協力: KiKla

■チケット発売・お問い合わせ■

メヌエット・デア・フリューゲル(主催) ☎048-688-4921

klavier@kikuko-mdf.com

http://kikuko-mdf.com

近江楽堂 松木アートオフィス ☎03-5353-6937

■チケット発売■

東京オペラシティチケットセンター ☎03-5353-9999

イープラス e+ http://eplus.jp/



《第34回》 J.S.バッハ

ファン・スウィーテン男爵を介して知ったJ.S.バッハの作品からモーツァルトは大きな影響を受けました。このバッハ体験は《第7回》で焦点を当てましたが、今回はタンゲンテンフリーゲル(以下タンゲンテン)との関連を軸にモーツァルトとバッハの作品に光を当てます。タンゲンテンはチェンバロに似た音色で、タッチにより音の強弱がつけられるため「表情豊かなチェンバロ」として18世紀のドイツで愛好されました。「ピアノの発明者クリストフ・フォリ」を知らなかった1717年に、ドイツでこのアクションを考案したCh.G.シュレーターは、「我こそピアノの発明者」と主張しました。バッハはシュレーターと親しかったので、タンゲンテンを演奏した可能性があります。

モーツァルトを夢中にさせたバッハの《平均律クラヴィーア曲集》《パルティータ》。ザルツブルグではシュペート製のタンゲンテンを愛用していたモーツァルト。新たな初期のソナタ像が浮かび上がることでしょ。

《第35回》 A.エーベルル

モーツァルトの精神を受け継ぎ、ロマン派を見据えるような作品を書いたエーベルル。ベートーヴェンの《英雄》初演時に一緒に演奏されたエーベルルのシンフォニー 変ホ長調が当時、《英雄》よりも高い評価を受けたという逸話からも、この作曲家の実力の程を知ることができます。特に初期の作品にはモーツァルトの作風を彷彿とさせるものがあり、生前から彼の名ではなくモーツァルトの名で出版される作品が後を絶たず、エーベルルはその誤りを正すために苦勞をすることにもなりますが、それだけ両者の作品には似通っていたものがあるという証明にもなっています。

当公演では、アルタリア社からモーツァルト「最後の偉大なソナタ」と銘打って出版された92年に書かれたエーベルルの作品1のソナタ、ピアノ音楽の街ウィーンから生まれた「トッカータ」、ベートーヴェンと比肩するヴァイオリンソナタを。モーツァルトの作品からは名品ヴァイオリンソナタを2曲お届けします。

《第36回》 J.S.シュレーター

ドイツ東方の音楽家の家系に生まれたヨハン・ザムエル・シュレーターは、一家でヨーロッパを巡演した際にロンドンにとどまり、その地でクラヴィーアの名手として名を挙げます。特に《チェンバロではなく》ピアノの特性を生かした、速いパッセージでも優美に歌う奏法で人気を呼び、イギリス宮廷とも深く関わりをもつようになり、宮廷内でのコンサートや音楽教師として活躍しました。ロンドンでクラヴィーアの入った室内楽作品を次々に出版し、それらの楽譜を見たモーツァルトは、彼の作品3のクラヴィーア協奏曲に感銘を受けカデンツァを作曲しています。モーツァルトのクラヴィーア協奏曲に与えた影響は見過ごせません。

今宵は、そんなモーツァルトの源泉を聴くようなシュレーターの弦楽器とクラヴィーアのための作品各種。モーツァルトのヴァイオリンソナタとディヴェルティメント(トリオ)と、珠玉の名曲短調のカルテットを色豊かにお届けします。



小倉貴久子 クラヴィーア
Kikuko Ogura

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞を得て首席卒業。日本モーツァルト音楽コンクール、ピアノ部門第1位。ブルージュ国際古楽コンクール、アンサンブル部門及びフォルテピアノ部門第1位と聴衆賞受賞。様々なコンサートシリーズを展開する一方、音楽祭やテレビへの出演も数多い。浜松市楽器博物館コレクションシリーズ

の録音での演奏も高い評価を得ている。これまでにCDを40点以上リリース。それらの多くが各新聞紙上で推薦盤、《レコード芸術》誌で特選盤に選ばれている。平成24年度文化庁芸術祭レコード部門《大賞》受賞。第30回ミュージック・ベンクラブ音楽賞クラシック部門【独奏・独唱部門賞】受賞。著書にカラー図解『ピアノの歴史(CD付き)』(河出書房新社)、共著にONTOMO MOOK『フォルテピアノから知る古典派ピアノ曲の奏法』他。東京藝術大学古楽科非常勤講師。



荒木優子 ヴァイオリン
Yuko Araki

《第35回出演》

桐朋女子高等学校を経て桐朋学園大学卒業。卒業演奏会に出演。同大学研究科修了。《バッハ・コレギウム・ジャパン》《オーケストラ・リベラ・クラシカ》《レ・ボレアード》など多数の古楽オーケストラのコンサートやCD録音に参加している。神奈川県立弥栄高等学校非常勤講師。



渡邊さとみ ヴァイオリン
Satomi Watanabe

《第36回出演》

桐朋学園大学卒業。及び同研究科修了。フランスにて《レザールフロリサン》《アンサンブル・ビッグマリオン》ほか様々なアンサンブルで活動。また、ナタリー・シュトゥッツマンのCD「Une Cantate Imaginaire」の《アンサンブル・オルフェオ55》ではソロを担当。現在は日本へ帰国し国内外で活動を行う。



松永綾子 ヴァイオリン/ヴァイオラ
Ayako Matsunaga

《第36回出演》

桐朋学園大学卒業。アムステルダム音楽院、ミラノ市立音楽院に学ぶ。伊ボンボルティ国際古楽コンクールで第1位受賞。《イル・ジャルディーノ・アルモニコ》《アカデミア・ピザンティーナ》などヨーロッパの古楽アンサンブルで活躍。《リクレアツィオン・タルカディア》他メンバー。



懸田貴嗣 チェロ
Takashi Kaketa

《第36回出演》

東京藝術大学大学院修了。伊ボンボルティ国際古楽コンクール第1位。《バッハ・コレギウム・ジャパン》《ラ・ヴェネシアーナ》《リクレアツィオン・タルカディア》他メンバーで活躍。CD「ランゼッティ/チェロ・ソナタ集」文化庁芸術祭優秀賞受賞。前北海道教育大学特任准教授。

予告

《第37回～第39回》ゲスト作曲家

C.M.v.ウェーバー

Carl Maria von Weber [1786-1826]

G.Ch.ヴァーゲンザイル

Georg Christoph Wagenseil [1715-1777]

L.モーツァルト

Leopold Mozart [1719-1787]

《第40回》記念公演 ～クラヴィーアコンチェルト～
[シリーズ最終回]

2019年12月7日(土) 第一生命ホール

L.v.ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven [1770-1827]

ピリオド楽器による室内オーケストラ(コンサートマスター:若松夏美)とともに

近江楽堂

(京王新線「初台」駅下車、オペラシティ方面出口3分)

〒163-1407 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ3階

☎ 03-5353-6937 (近江楽堂・松木アートオフィス)